

## 第53回優秀畜産技術者表彰受賞者業績概要

(敬称略)

井上 慶一	<p><b>独立行政法人家畜改良センター 改良部 調査役</b>                  肉用牛の産肉性や生産性に関する形質間の遺伝的関係の解明などを通じて効率的育種改良に貢献するとともに、枝肉情報の全国データベースの構築や広域後代検定における全国的な情報収集及び評価システムの構築、道県とのゲノミック評価の実施など、肉用牛の育種改良全般に貢献した。</p>
倉原 貴美	<p><b>大分県農林水産研究指導センター 畜産研究部 肉用牛繁殖・酪農チーム チームリーダー</b>                  「おおいた豊後牛」の遺伝的能力評価法を取り入れた育種改良に取組み、県内の肉用牛育種改良に貢献したほか、ウシ腔内留置型ホルモン製剤を活用したワンショット法の実用化に成功し、受精卵移植等の繁殖成績向上に寄与するなど、次世代種雄牛造成につながる成果をあげている。</p>
城田 圭子	<p><b>広島県立総合技術研究所 畜産技術センター 飼養技術研究部 副部長</b>                  高泌乳牛に対応した自給粗飼料の品種選定と給与技術の開発に従事し、特に極短穂型稲品種「たちすずか」のWCSを原料としたTMRの調製給与技術の開発と実証を行った。この成果は県内TMRセンターでの活用を通じ、中山間地の活性化に寄与する「たちすずか」の普及に大きく貢献した。</p>
神藤 学	<p><b>山梨県畜産酪農技術センター長坂支所 乳肉用牛科 主任研究員</b>                  牛の改良増殖に関して、体外受精卵生産技術、受精卵の凍結保存技術、性判別卵生産技術、クローン牛生産技術、低ランク胚の活用技術などの繁殖関係の技術開発に取り組んだ。凍結受精卵や性判別凍結受精卵にかかる基礎技術の確立と県内農家への胚の供給で生産者への普及に貢献した。</p>
中村 明弘	<p><b>愛知県農業総合試験場 企画普及部 企画調整室 主任研究員</b>                  名古屋コーチンの羽性遺伝子に着目し、速羽性雄系統と遅羽性雌系統を短期間に作成できる育種手法など、羽性遺伝子の効率的選抜技術と生産形質に及ぼす影響を解明した。また、採卵用タイプの名古屋コーチンコマーシャル鶏の造成やDNA識別法の開発によりブランド力向上にも寄与した。</p>
平川 達也	<p><b>福岡県農林業総合試験場 研究員</b>                  近赤外線分析計による飼料用イネの飼料分析診断システムを構築し、県内の牛飼養農家に広く活用され、飼料用イネの作付面積の拡大という県内畜産技術の発展に貢献した。さらにブロイラーに飼料用米を給与することで県産銘柄鶏「はかた一番どり」「はかた地どり」のブランド化にも貢献した。</p>
深川 聡	<p><b>長崎県農林技術開発センター 畜産研究部門 室長</b>                  九州北部において、矮性ネピアグラスは越年利用可能で、栄養価や牛の嗜好性が高いことを明らかにし、冬季に茎を移植する簡易草地造成法を確立した。さらに、飼料イネサイレージのTDN含量について、簡易推定法や乾物消化率および粗灰分含量から精度よく推定できる手法を開発し、これらはマニュアル等で広く周知されている。</p>
福田 茂夫	<p><b>北海道立総合研究機構農業研究本部畜産試験場 基盤研究部 家畜衛生グループ 主査</b>                  BSEプリオン感染牛を国内で初めて作出し、異常プリオン蛋白質の体内分布と行動変化の関係を明らかにするなどの研究成果は、内閣府食品安全委員会においてBSEのリスク評価の基礎的知見として活用されている。また、獣医師や一般消費者へのリスクコミュニケーション活動により食品安全行政にも貢献した。</p>
宮腰 雄一	<p><b>新潟県農業総合研究所 畜産研究センター 専門研究員</b>                  乳用種去勢牛の増体向上のための適正な飼料中TDN水準を明らかにし、栄養管理指標を立てた。また、食品製造副産物利用による低コスト乳用種肥育技術を確立した。さらに、全国畜産関係普及指導員調査研究会の発足に携わり、肉用牛向け稲WCS調製技術の提案等、飼料用イネ利用拡大への技術普及に貢献した。</p>
山口 大輔	<p><b>茨城県畜産センター 主任研究員</b>                  受精卵移植技術に関連しクローン家畜生産技術、移植技術や凍結保存技術の開発と普及に貢献した。中でもクローン豚の後代産子の発育、産肉能力調査や、牛胚の生産、保存、移植技術の高度化を行ったほか、農家における過剰排卵処理法の指導により高品質な牛の受精卵供給を増大させ、生産者にも貢献した。</p>

注；所属及び役職は、審査・選考時点のものを記載しております。

生産局長賞は、(独)家畜改良センターの井上慶一氏に決定されました。